

# 三島中学校 学校通信1月号

令和8年1月8日(木)

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。保護者の皆様、地域の皆様、昨年は、様々な教育活動におきまして、ご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も三島中学校をどうぞよろしくお願いたします。

さて、今年のお正月は、どんなお正月でしたか？生徒のみなさんは、どのような新年の抱負を立てたでしょうか？私は「再出発」としました。昨年は「健康第一」でした。なぜ「再出発」にしたか？昨年は、さまざまなできごとや初めての経験などがあり、うまくいかなかったことや十分満足できることなどたくさんの経験を積むことができた一年でした。どちらかといえばうまくいかなかったことのほうが大部分を占めています。この貴重な経験から私は「再出発」としました。「再出発」ができるようもう一度自分を見つめ直し、しっかりした心構えをもって日々の生活に望もうと思っています。

昨年末の学校生活を振り返ってみると、学校の中心となる生徒会本部役員の改選があり、11月28日(金)に新旧役員の引継ぎ式が行われました。いよいよ2年生を中心とした新体制での本格的なスタートとなります。石田生徒会長を中心にすべての生徒の皆さんが楽しいと思える学校をつくっていきましょう。そして、三島中学校生がさらに輝きを増していけるようチャレンジを重ねてくれることを期待しています。

今年は、穏やかなお正月でしたが、1月6日に鳥取県と島根県を中心に大きな地震があり、たいへん驚きました。私は徳島市に出張していましたが、携帯電話の緊急地震速報とともにゆれを感じました。大きなゆれではなかったのかもしれないのかな？と思い、調べてみると徳島市で震度3、美馬市でも同じく震度3でした。一昨年のお正月にゆれた「能登半島地震」を思い出しました。今も余震が続いていますが、私たちが住んでいる四国地方にも近いので、災害に対する備えをしっかりと見直しておきたいと思います。

さて、身近な地震で思い出すのはやはり「阪神・淡路大震災」です。私は、社会人として働き出した2年目で、小学校に勤務していました。朝、早くに「ドン」という大きな音とともに目が覚め、家が大きく揺れたことを思い出します。しばらくしてテレビをつけると神戸市が大変なことになっていることがわかりました。初めての経験で、何が起きているのかわからないまま、学校へ向かいました。徳島県は大きな被害こそありませんでしたが、阪神地方、特に神戸方面は大きな被害がありました。淡路島の北淡震災記念公園には、当時の断層のずれを保存した「野島断層保存館」があります。校外学習で何度か訪れましたが、何度見ても地震の凄まじさと脅威を感じることができ、地震に備える大切さを改めて実感します。また、実際に被災した語り部の方のお話を聞くことで、より一層被害の大きさがわかります。南海トラフの大地震はいつ起こるかわかりません。私たちは先人の知恵をもとに「かけがえのない命」を守るため、備えていかなければならないと常に考えていかなければなりません。「備えあれば憂いなし」。いざというときに慌てぬよう、しっかり備えておきましょう。

最後に、生徒の皆さん、今年はどういう一年にしたいですか？一人一人それぞれに今年の成長を願い、目標を掲げたことと思います。その達成に向けて努力を積み重ね、大きな成長ができる一年になることを期待しています。

三島中学校長 松永貴史

## 1月行事予定

- 1日(木)～3日(土) 元日、年始休
- 5日(月) 学校給食の引き落とし日
- 8日(木) 冬休み明け集会、避難訓練
- 9日(金) 第3回基礎学力テスト(3年)、課題テスト(1・2年)
- 12日(月) 成人の日
- 13日(火) 身体測定
- 14日(水) スクールカウンセラー来校
- 21日(水) スクールカウンセラー来校
- 23日(金) 英語検定
- 26日(月) 集金引き落とし日
- 28日(水) スクールカウンセラー来校

